

遠藤周作 生誕100年

# 沈黙と好奇心の旅へようこそ



①遠藤周作文学館



②思索空間アンシャンテ



遠藤周作の眼鏡と鉛筆



「沈黙」草稿

100回目のお誕生日！

3月27日、作家・遠藤周作は生誕100年を迎えます！

今回の特集では、遠藤文学の世界への旅はもちろん、海外にある遠藤周作文学館へのリアルな旅へ皆さんをお誘いします。

お出掛けの際に、足を運んでみませんか。

## 特別企画展

### 100歳の遠藤周作に出会う

今回の展示は、小説家・遠藤周作の文学世界と遠藤周作のもう一つの顔とされる「狐狸庵先生」に焦点を当てた展示を行います。また、遠藤周作が語りかける魅力的な言葉の展示や遠藤周作に縁のあるかたからのメッセージも展示します。遠藤周作の等身大パネルも初登場！3月27日(月)午後1時から来年9月26日(木)までです。

ぜひ、文学館を訪れて、あなたの心に響く言葉を見つけてませんか？

## 遠藤周作

(1923-1996)





## ①遠藤周作文学館

遠藤周作の没後、彼の文学や人間を語るのにふさわしいロケーションということで外海に建設されました。遠藤周作の遺品や生原稿、蔵書などを展示しています。

## ②思索空間アンシャンテ

アンシャンテはフランス語で「初めまして」。ゆったりした時間が流れる室内で大きな窓から美しい景色を眺め、自分と向き合うことができます。

## ③ステンドグラス

遠藤文学の世界観をイメージした深い海のようなステンドグラス。文学館を訪れた際は写真を撮ってみては。

## ④沈黙の碑

出津文化村の入り口付近にあります。海を見下ろす高台にあるので、遠くまで広がる海と文学館を望めます。

## ⑤道の駅夕陽が丘そとめ

文学館に隣接する道の駅。ソフトクリームやコーヒー、地域の農林水産物や特産品、工芸品などを販売しています。ドライブの休憩にオススメ。



③ステンドグラス



文学館オリジナルキャラクター  
タヌキとキツネ



遠藤周作の執筆記



⑤道の駅夕陽が丘そとめ



④沈黙の碑

## 長崎との関わり

戦後から平成にかけて活躍した小説家。学生時代に洗礼を受けてカトリック教徒になったため、作品には宗教をテーマにしたものが多くあります。  
文学を通じて日本の精神風土とキリスト教について追究し、多くの作品を残しました。その中には芥川賞や谷崎賞などの受賞作品もあります。  
他にも、自身を「狐狸庵山人」と称して「狐狸庵閑話」や「ぐうたらシリーズ」などのユーモアがあり、親しみやすいエッセイなども執筆。  
愉快な人柄だったそうです。

外海は小説『沈黙』に登場する「トモギ村」のモデルの一つになっています。遠藤周作は小説を書く前から長崎を何度も取材で訪れ、生前には小説の風景を思い起こす小高い丘に「沈黙の碑」が建立されました。  
後に遠藤周作はこの地を、「神様が僕のためにとっておいてくれた場所」と話しています。  
「富士男」でコーヒーを飲んだり、鍛冶屋町にあった「銀嶺」で食事をしたり、皆さんがご存じの場所も遠藤周作のお気に入りだったようです。

遠藤周作文学館

☎ 0959・37・6011

遠藤周作文学館  
詳しくはこちら



遠藤周作生誕100年



100th

生誕100年を記念して特設サイトを開設しました。サイトでは遠藤文学とゆかりのある長崎を紹介するスペシャルコラムをはじめ、イベント情報、記念グッズや遠藤周作文学館、初の公式ガイドブックなどの情報を掲載予定です。  
また、遠藤周作と遠藤文学の魅力を多くのかたに伝えるため、インスタグラムとツイッターも開設しています。  
インスタグラムでは、小説やエッセイから選んだ、心に響く名言、ゆかりのあった作家や俳優などから寄せられたメッセージ、スタッフの推し本、イベント情報など遠藤文学の魅力を発信中！  
ツイッターでは小説やエッセイの一言を紹介する「遠藤周作名言集」をつぶやいていますので、ぜひフォローやいいねをしてくださいね。

100年の想いと人柄にふれる

メッセージをご紹介します

シンガー・ソングライター、小説家 **さだまさしさん**

遠藤先生が僕に「小説を書け」と仰ったのには心底驚きました。「無理です。書けません」とお答えしたら「いや書けるよ。君の歌は既に短編小説になってる。書いて読ませろ」胸が一杯になりましたがあの遠藤周作先生に原稿を持っていくなどという勇氣は当時の僕にはなかったことが今でも悔やまれます。



俳優 **窪塚洋介さん**



憧れのマーティン・スコセッシ監督の構想30年とも言われる作品にして、僕にとって初めてのハリウッド作品「沈黙 -サイレンス-」が、日本の風土と歴史が生んだ作家の作品であることに何やら運命を感じずにはられません。恥ずかしながらそれまで先生のことを存じ上げずにおりましたが、その後「海と毒薬」、「深い河」、「狐狸庵」シリーズなどを拝読させて頂き、その洞察力、懐の深さとチャームिंगさの境地に驚きと敬意を抱いております。

文学的な毎日を刻もう！



日めくり万年カレンダー

いたずらアイデアのメモをとろう！



付箋

この一冊であなたも遠藤通?!

大切なあの人へ手紙を出してみない？



ポストカード



公式ガイドブック紙面

オリジナルグッズも3月下旬頃から販売！

※エコバッグと記念切手も販売します。詳しくは随時特設サイトで公開！



# 遠藤作品を読んでみようかな？

## と思ったあなたにオススメしたい本

『女の一生 一部・キクの場合』

『女の一生 二部・サチ子の場合』

遠藤周作 著 新潮文庫



遠藤周作の代表作として知られる『沈黙』とともに長崎三部作に数えられる2冊。

この作品は、遠藤周作が長崎への恩返しのために書いたそうです。

長崎を舞台に、二人の女性の一生を鮮やかに描いています。

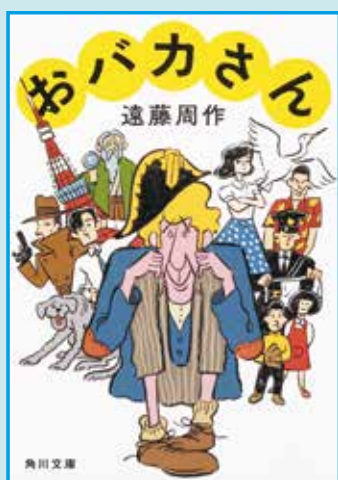
「一部・キクの場合」では、大浦天主堂でのプチジャン神父による信徒発見に始まり、幕末から明治期の長崎での切支丹弾圧の史実に沿いながら物語が進みます。本書の中では、諏訪神社も登場。

さらに、「二部・サチ子の場合」は、第二次世界大戦下の長崎で、激動の時代に信仰を守り、恋人を想い、愛に生きた主人公の物語です。

また、1985年に放送された朝日放送創立35周年記念番組「女の一生・キクの場合」に出演した小泉今日子さんからもメッセージをいただいています。生誕100年特別企画展やインスタグラムで紹介予定です。

『おバカさん』

遠藤周作 著 KADOKAWA/角川文庫



日本にやってきたフランス人のガストン。彼は、ナポレオンの末裔と称する馬面の青年です。弱虫でドジだけど、お人好しなおバカさんは、行く先々で珍事を巻き起こしていきます。

素直に人間を信じ、だまされても裏切られても、他人を愛することをやめない主人公は、周囲の人々の心を温かい光で満たしていきます。

人間を信じようと懸命に生きるガストンの人物像には、遠藤周作の理想のイエス像が重ねられているそう。

一生懸命生きることが美しいと思える小説です。

優しい愛にふれたい人、勇気をもらいたい人にオススメです。

遠藤周作のユニークな語り口で描かれる親しみやすい登場人物や人間模様には、読んだ人はどんどん引き込まれていきます。

遠藤周作のユーモア小説の傑作を、ぜひ読んでみては。



特設サイト



ツイッター



インスタグラム

広報ながさき編集者が  
推理小説『闇のよぶ声』  
を読んでみた！

ミステリーや推理小説が好きなので、遠藤周作の長編推理小説を読んできました。

昭和38〜39年にかけて、週刊新潮で連載されていた本作は、心理的探偵法を用いた遠藤周作唯一の長編推理小説です。一人の精神科医が、不可思議な失踪事件の謎を解くこの作品は、登場人物の心の動きや物の見え方などが繊細に描写されていて、読み進めていくうちに、小説の世界へ引き込まれていきます。

人間の心の弱さに焦点を当て、人の罪やそれに対する罰、因果応報を感じさせる内容でもあります。

大きな場面展開はありませんが、戦後の日本を舞台に、静かに真実が解き明かされていく推理小説です。

「長崎」もちらりと登場しています。推理小説が好きなたにぜひ読んでほしい一冊です。

また、市立図書館では4月10日⑧まで、遠藤周作の小説やエッセイなどを1階に展示しています。

気軽に手に取って読んでみてくださいね。